

釜 風

第 112 号

2026年10月1日

発行 北海道八雲高等学校
 父母と教師の会
 編集 父母と教師の会広報部



令和8年度 入学式(4月8日)

八雲高等学校は、学校や家庭のみならず、地域の皆様や同窓会の皆様にも支えていただいております。この温かなつながりは、子どもにとってかけがえのない財産です。今後、学校・家庭・地域が力を合わせ、生徒と共に学び、共に成長していくPTAを目指してまいります。引き続き、変わらぬ御理解と御協力を賜りますよう、お願い申し上げます。

子どもを大切に思うからこそ、「守ること」に偏り、本来伝えるべきことを十分に伝えられていないことはないでしょうか。愛情を注ぐことと、何でも受け入れることは、必ずしも同じではありません。子どもの将来を思うからこそ、時には毅然とした姿勢で向き合い、必要なことを伝えることも、私たち大人の重要な役割であると考えております。

子どもを大切に思うからこそ、「守ること」に偏り、本来伝えるべきことを十分に伝えられていないことはないでしょうか。愛情を注ぐことと、何でも受け入れることは、必ずしも同じではありません。子どもの将来を思うからこそ、時には毅然とした姿勢で向き合い、必要なことを伝えることも、私たち大人の重要な役割であると考えております。

PTAの活動を通じて、子どもの成長を支えるだけでなく、私たち大人自身も、子どもとの関わりの中で学び、成長していくことが重要であると実感しております。子どもの成長を見守る中で、改めて認識することがあります。それは、子どもを「一方的に」教育するのではなく、私たち大人も子どもから学び、共に成長していく「共育」の姿勢が大切であるということです。

今年度より、八雲高等学校父母と教師の会会長を務めさせていただきます。藤田真也です。平素より本会の活動に格別の御理解と御協力を賜り、心より御礼申し上げます。子どもの健やかな成長を支えるため、学校・家庭・地域の連携を大切にし、責任をもつて活動に取り組んでまいります。PTAは、子どもたちの学校生活を支えるだけでなく、私たち大人が子どもたちと向き合い、自らの役割を考える場でもあります。



父母と教師の会

会長 藤田 真也

共に育つ

地域とともに



校長
蓬田 泰生

保護者の皆様、日頃より学校の教育活動およびPTA活動に温かいご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。子どもたちが毎日元気いっぱいに登校し、充実した学校生活を送ることができの、ひとえに保護者の皆様の日々のサポートのおかげです。

私も八雲高校に着任して半年が経ちましたが、おかげさまで毎日楽しく充実した日々を送ることができております。毎朝、生徒玄関で挨拶運動を行っておりますが、子どもたちからはいつも気持ちの良い挨拶が返ってきます。生徒同士の仲も良く、互いを思いやる良好な人間関係が、学校全体の温かく落ち着いた雰囲気を作り出していると感じています。

その一方で、今年2月に実施した学習状況調査（データは昨年度のものになります）の結果を見ると、本校の子どもたちはスマートフォンの利用時間が長く、全道の傾向と比較しても依存度が高い状態にあることが分かりました。

スマートフォンの長時間利用が脳に悪影響を及ぼすことは知られていますが、依存度が高まるほど、脳内で「幸せホルモン」と呼ばれるセロトニンの分泌が低下することが脳科学者の研究で証明されています。画面からの光の刺激に加え、SNSや動画の視聴は脳を覚醒させて睡眠の質を低下させ、起床時のセロトニン分泌を妨げます。セロトニンが減少すると、感情のコントロール

が難しくなったり、やる気や集中力が低下したりと、学校生活全般に大きな影響を与えてしまいます。実際に2月の調査でも、その前の年度と比べて「自ら有用感」「達成感」「人との関係」に関する数値が下がり、学校への満足度に影響が出ていることがうかがえました。

本校では今年の学校経営重点目標の二つに「ウェルビーイングを実感できる学校づくり」を掲げております。その実現のためにも、スマートフォンの使い方について、これまで以上に知恵を絞りながら手立てを考える必要があると感じています。子どもたちの明るい未来のため、ご家庭でもご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

第77回 遊楽部祭
テーマ『絆翔』
7月11日(土)・12(日)

○総合	1位 3年B組
2位 3年A組	3位 2年A組
○模擬店部門	1位 3年B組
2位 1年B組	3位 3年A組
○写真ブース部門	1位 3年B組
2位 3年A組	3位 2年A組
○衣装部門	1位 3年B組
2位 3年A組	3位 2年A組
○クラスパフォー	1位 3年A組
2位 3年B組	3位 2年B組



3学年集合



令和7年度 八雲町補助金内訳

収入の部

科 目	金 額	備 考
八 雲 町 より 補 助 金	3,740,599	
合 計	3,740,599	

支出の部

科 目	金 額	備 考
通 学 費 助 成	3,430,874	森1 熊石11 落部14 野田生10 黒岩2
進 路 指 導	111,175	ベネッセ模試 スタディサプリ(通信教育)
各 種 検 定 補 助	198,550	日商簿記 全商簿記事務 情報処理 商業経済 ビジネス文書 ビジネス計算 英検 漢検 数検
合 計	3,740,599	

八雲高等学校
教育振興会からのご報告

八雲高等学校教育振興会は、八雲高等学校生徒への教育支援・教育環境の向上と、保護者の負担軽減を図るため、同窓会が主体となり、八雲町より全面的な財政支援を受け設立してから14年が経過しました。少子化が進む中、以下のような活動(支援)を行いました。

- 通学費の半額補助
- 模擬試験受験料の半額補助(年に1度)
- 準2級以上の各種検定料の半額補助
- 遠方通学者に対する下宿代の補助

一学年主任 鈴木 琢二

保護者の皆様には、日頃より本校の教育活動に温かいご理解とご協力をいただき、心より感謝申し上げます。

入学から早くも六ヶ月が過ぎようとしています。夏休み前には高校で初めての学校祭を経験し、クラスのまとまりも一段と深まりました。学校生活にもすっかり慣れ、頼もしさを感じる場面が増えております。現在は、九月九日からの前期期末考査に向けた学習や、秋季大会を目指す部活動に、日々前向きに取り組んでいます。

高校生活の大きな目的の一つは、今後の歩みを大きく左右する進路を決めることです。その第一歩は、お子様にとって学校が「誰もが自分の持ち味を発揮できる、安心・安全な穏やかな生活の場」を確立することであり、一人ひとりが目的を持って生き生きと過ごせることだと考えております。生活の安定こそが、落ち着いて目標実現へ向かうための確かな基盤となるからです。

これまで学年スタッフ一同、丁寧な目配りや声かけを大切にしてまいりましたが、何より生徒たち自身が前向きに新しい環境に順応しようとする結果、学年全体として落ち着いた学校生活を送ることができています。この流れを大切に、今後はより具体的な将来像を描けるよう、お子様一人ひとりと深く対話を重ねてまいります。

「まだ1年生」と思っているも、卒業後の道を選択する時期はあつという間に訪れます。私たちは全力で希望の実現を支援してまいります。ご家庭のご協力が不可欠です。ぜひ今から、将来のことについて日常的に話題にしていいただければ幸いです。今後とも変わらぬご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。



1年B組



1年A組

二学年主任 葛西 勇樹

日頃より本校の教育活動にご理解とご協力をいただき誠にありがとうございます。

さて、57名でスタートした二年生は、新たなクラスにも慣れ、中堅学年として落ち着いた学校生活を送っています。

七月に行われた学校祭では、各クラスともクラスパフォーマンスや展示、衣装など昨年の経験を活かしながら、協力し合い成長の跡を感じさせる出来栄えのものを作り上げました。

十月には、町内の事業所の皆様のご協力のもと二日間のインターンシップを行ったのち、関西・関東方面へ三泊四日で見学旅行に行つて参ります。

普段の学校生活とは異なる環境の中で、働くことの大切さを学び、実践的な学びと体験の中で自身の見分を広げてもらいたいと思っています。

後期は、日々の活動の中で進路実現に向けて考える機会が増え、いよいよ、個々の進路実現に向けて指導とサポートを行つてまいります。ご家庭に於かれましても、ご理解とご協力をいただきますようお願いいたします。



2年B組



2年A組

三学年主任 坂下 剛教

本校の教育活動に対しまして、ご理解とご協力いただき誠にありがとうございます。

さて、高校生として最後の学年を迎え、早くも半年が過ぎました。最後の学校祭ではこれまでの経験が存分に発揮され、最上級生らしい活躍を見ることができました。

また、ゴールデンスウィーク明けから専門学校へのAO入試が始まり、七月一日には求人票も公開されました。進学・就職ともに進路活動が本格的に動き出しています。夏期休業中も講習や面談、企業見学など、進路実現のために積極的に活動する姿も見られました。高校生活も残りわずか。三年生全員が希望の進路に進むことができるよう、学年団はもろんのこと、学校全体で引き続き全力でサポートしていきます。残り短い時間ですが、体調管理等も含め、各ご家庭におかれましても、ご理解ご協力をお願いいたします。



ビジネス連合



3年B組



3年A組

